

米国 Spyrus 社がポケット・PKI システムを発表

- Red Hat Summit 2008 -

Spyrus 社は 6 月に行なわれた Red Hat Summit 2008 で PocketCA と呼ばれる Linux 用ポケット・PKI システムを発表し、成功裏にデモを行なった。Red Hat による PKI システム技術の Dogtag オープンソースプロジェクトに基づき Spyrus 社が開発した。PC に Spyrus 社製のポケット・サイズのハードウェアを取り付けるだけで PKI システムが完成し、複雑な PKI 導入を非常にシンプルにする。

PocketCA はサーバーによる構造からもっと導入しやすい ID、証明書管理を提供するようになる。Red Hat 社のセキュリティ VP である Katrinka McCallum 氏は“このシステムによりサーバーの数が大幅に削減され、セキュリティインフラは非常に簡素化される。我々の Dogtag プロジェクトが Linux 社会にこの種のイノベーションで大いに寄与する。”と語っている。

Spyrus 社はこの要求に対応するため既存ハードウェア USB 型 HydraPC Digital Attache で対応した。内蔵の 8GB MicroSD 読み専用領域にソフトウェアを収納し、そのソフトウェアで PKI システムの起動を行なう。Linux OS はそれによりディレクトリー、証明書サービス、重要なアプリケーションや機密データが、miniSD 上のセクターベース暗号部により守られる。CA の管理者はその暗号部に必ずログオンしてから、PKI システムを起動する必要がある。PocketCA は起動にネットワーク、インターネット接続は全く要求しない。ネットに接続が出来る場合、PocketCA は特定のデータを関連するディレクトリーやデータベースとの同期を行なう。

これまで企業規模で PKI による証明書や証明書失効管理などに複雑な技術と多くのスマートカード、USB トークン等のコンポーネントを組合せ統合しなくてはならなかった。PocketCA の製品化により 10 年来の課題が解決される。法律事務所、政府、企業はマイクロソフトサーバーによる PKI システムを使用してきた。

PocketCA の開発に Spyrus 社は Linux オープンソースである Dogtag 証明書システムを、ID 管理とセキュリティハードウェアソリューションに応用した。これは政府、企業を問わず市場で増大中の Linux ソリューション要求に対応するためでもある。

Spyrus 社はトラステッド・ハードウェア・セキュリティ・デバイス製造と PKI に注力してきた。従来の PKI 導入における技術的制約、精神上的の障害を取除くために開発され、特に有事先線におけるデータ通信、企業拠点間通信に使用される。PocketCA は Dogtag に基づくことで時代の要求に対応するものであるといえる。

Dogtag プロジェクト

Red Hat 社が行なっていた JAVA ベースの PKI プロジェクト、Dogtag を 2008 年 3 月オープンソース化することで [Fedora Directory Server](http://fedora.directoryserver.org/) 等のソースを開放した。関連トピック：FreeIPA、http://pki-svn.fedora.redhat.com/wiki/PKI_Main_Page

Spyrus 社について

1992 年米国カリフォルニアに設立され一貫して Microsoft ISV パートナー、ゴールド認定パートナーとして、超小型 HSM や、USB セキュリティデバイス、ソフトウェアを開発販売してきた。米国の CAC (Common Access Card) への製品納入は良く知られている。政府関連、軍関連を中心に堅調に販売実績を重ねている。

www.spyrus.com

KK ICH 3-5-17-408 Nishigotanda, Shinagawa, Tokyo 141-0031 Japan

Phone +81-3-3432-3336

<https://www.ich-one.com>